

市指定文化財<天然記念物>

いわもとまきてんじん むく
岩本巻天神の棕の木

指定日 昭和62年4月1日

所在地 菊池市旭志弁利 岩本



岩本区のほぼ中央にある巻天神の御神木で、樹齢600年とも800年ともいわれ、幹周り6.5mの老木である。地元では「森天満宮」とか、「おてじんさん」と呼ばれ親しまれている。

根元は空洞になり、台風による枝折れが生じ樹勢の衰えが見られたため、平成17年、専門の樹木業者の発注して樹勢回復事業を実施した。また、平成22年には玉垣の整備を実施した。

毎年12月15日に、上、中、下組の3座で順番にこの御神木に7週半の注連縄しめなわを巻いて祭典が行われ、夜は地元神楽保存会による神楽が奉納されている。

なお、注連縄が早く腐った年が豊年であるといわれている。